

ウクライナ・ロシアの戦争から

ウクライナの虐殺現場などの悲惨な現状をテレビなどでみると、なんとも表現しがたい悲しい気持ちになります。情報伝達方法が発達したおかげで、部分的にはフェイクである可能性はありますが、報道規制のない自由主義陣営の人々にはこの情報が即座に伝わります。軍事攻撃したロシアに非があることは明らかですが、お互いの主張を理解するためにはこの2国および周辺国の30～40年におよぶ歴史を勉強することが最低限必要です。

考えてみれば、20世紀初頭では、アメリカやヨーロッパの国々は、今回のロシアと同じように、住民を虐殺して、領土を広げてきた歴史がありました。しかし、第一次大戦・第二次大戦を経て、世界は「武力による領土の奪取、民間人虐殺がないように」と種々の取り決めをしてきました。そして、第二次世界大戦の戦勝国から出発したという歴史ではありますが、国際連盟にはそのための安全保障委員会も存在していました。

今回のロシア侵攻の意味するところは、そのような体制があったにもかかわらず2022年現在、世界は大規模な戦争を防ぐことができなかったという事実です。そして、ロシアがウクライナの原子力発電所を攻撃したり、核爆弾を用意があるとの発表を知って、サイコパスが指導者になった時の怖さを思い知りました。5大国にベト（拒否権）を与えている限り、その5大国が戦争を仕掛けた場合、国連はそれを止めるということは構造上できないのです。

今後は、ロシアが北海道に攻め入る可能性も、中国が台湾や沖縄に攻め入る可能性も考慮しなければなりません。その際、アメリカや国際社会はそれを阻止できるのでしょうか？日本の自衛隊はどう対応すべきなのでしょうか？

今回の事件をきっかけに、「日本の国防」ということに対して、核装備などをタブー視せず議論すべきではないでしょうか。

2022年の日本の平和を「憲法9条で」とは私にはとっても思えません。

2022.4.11